

令和5年10月27日(金)

鳥羽商船高専がプログラミングコンテストで優秀賞をW受賞

鳥羽商船高等専門学校(鳥羽商船高専)の学生9人が市長室を訪れ、第34回全国高等専門学校プログラミングコンテストで優秀賞をW受賞(課題部門・自由部門)したことを中村市長へ報告に来ていただきました。



課題部門で優秀賞を獲得した「FishCam」は、いかだや小舟に乗って釣りをを行う「カセ釣り」を運営する遊漁船業のオンライン安全確認・釣果共有システムです。アプリから取得した映像を骨格識別 AI により分析し、落水などの異常があった場合に即座に遊漁船に通知したり、釣果写真識別 AI により、カセ釣りを運営する遊漁船の SNS に自動で投稿したりすることができます。

自由部門で優秀賞を獲得した「ぱどろーる」はカヤックでの海難事故を防ぐ支援システムです。カヤックに設置したスマホから得られるデータで転覆の危険があるかを識別し、事故の発生時には緊急メールで通報したり、家族や関係者がリアルタイムで現在位置を確認したりすることができます。また、手を使わずに音声で写真撮影することができ、撮影した写真の中から AI が自動で楽しそうな表情を選び、スライドショーを作成する機能もあります。

参加した学生たちは「開発の面で苦労することが多かったが、当日の審査も上手くいった思ったよりも大きな成果をあげることができた」「チームの全員がカヤック未経験者でカヤックを知ることから始めた。本番も楽しむことができた」と話してくれました。